

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 鳳会 ）
 事業所名 （ 特別養護老人ホーム ふじトピア ）
 サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」 NN-1310			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 元 年 9 月 17 日	7 台	令和 元 年 9 月 17 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 パラマウントベッド株式会社の「眠りSCAN」（NN-1310）を令和元年9月（補助金交付決定次第）に導入することで、利用者様の事故防止ならびに職員の負担軽減に資する。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドのマットレス下に設置して使用できるため、利用者本人には違和感を与えることなく使用することできる。また、使用時には本人・ご家族に説明し、配慮する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 利用者様の転倒等の事故防止、および職員の業務負担軽減による離職防止につなげることを目標とする。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者様の転倒等のリスク軽減と職員の心理的ストレス軽減による離職防止			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 風会 ）
 事業所名 （ ふじトピア短期入所生活介護事業所 ）
 サービス種別 （ 短期入所生活介護 ）

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」 NN-1310			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 元 年 9 月 17 日	1 台	令和 元 年 9 月 17 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 パラマウントベッド株式会社の「眠りSCAN」（NN-1310）を令和元年9月（補助金交付決定次第）に導入することで、利用者様の事故防止ならびに職員の負担軽減に資する。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドのマットレス下に設置して使用できるため、利用者本人には違和感を与えることなく使用することできる。また、使用時には本人・ご家族に説明し、配慮する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 利用者様の転倒等の事故防止、および職員の業務負担軽減による離職防止につなげることを目標とする。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者様の転倒等のリスク軽減と職員の心理的ストレス軽減による離職防止			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 医療法人社団 清秀会 ）

事業所名 （ 介護老人保健施設 ケア・センターひまわり ）

サービス種別 （ 介護老人保健施設 ）

見守り機器の製品名			
FBR-N135 PS02/M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 1 日	10 台	令和元年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 介護職員が利用者の状態に合わせた設定ができるため、利用者様を安全にまた本人に知られる事なく見守ることができ、ベットからの転倒・転落事故防止を行う事を目標と致します。 令和元年 7 月 機器設置前調査 令和元年 10 月 機器導入・使用説明 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者様自信に知られることなく見守りが可能となり、状況確認の巡回の回数を低減することで利用者様のプライバシーを守り、利用者様の安全確保が出来かつ利用者様主体の生活の一助とする。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） この見守りシステムセンサー内蔵型ベッドを導入することで、認知症のある利用者様や歩行不安定な利用者様への対応の迅速化、ベッドからの転倒転落防止、また介護従事者の時間短縮、精神的・肉体的ストレスの軽減ができ円滑な見守りが可能となる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・現在使用している接触型マットセンサーと異なり、セッティングの手間がいない。 ・利用者様に対する転倒転落防止の削減が期待でき、利用者様の安全が確保できる。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (遠州鉄道株式会社)
 事業所名 (ラクラス可睡の杜レジデンス)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019年8月31日	5	2019年8月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドセンサー「眠りSCAN」を導入することで、介護サービス利用者の状況を遠隔把握し、介護業務の効率化を図る。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 カメラなしで、心拍とベッド上の動きのみをセンサー感知する機器で、プライバシー配慮を実施。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ・ 職員の負担軽減による離職防止（離職率の減少）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ 室内での転倒事故の減少 ・ センサーでの状態把握による職員の不安払拭 ・ 夜間の巡視回数の減少による職員の負担軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス上島ショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019年8月31日	3	2019年8月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドセンサー「眠りSCAN」を導入することで、介護サービス利用者の状況を遠隔把握し、介護業務の効率化を図る。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 カメラなしで、心拍とベッド上の動きのみをセンサー感知する機器で、プライバシー配慮を実施。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ・職員の負担軽減による離職防止（離職率の減少）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・室内での転倒事故の減少 ・センサーでの状態把握による職員の不安払拭 ・夜間の巡視回数の減少による職員の負担軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団 浩葉会)
 事業所名 (ショートステイ 萌の家)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 眠り SCAN (NN-1310)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月30日	1台	令和元年9月30日	—
【事業概要及び導入スケジュール】 入居者様の睡眠状態把握、ベッドからの転落防止およびスタッフの夜間見守り業務負担軽減のため、短期入所生活介護に1台導入する。主に夜間帯に寝付きが悪く、歩き回る方を対象とする。 令和元年9月末に設置および研修を実施する。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサーの検出データはステーションに設置されたパソコンにて確認を行う。 各スタッフはセンサーより得られた各種データを厳重管理する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 睡眠データを分析することで各入居者様が安眠頂けるようなプラン立案が実施できること。 入居者様、御家族および担当ケアマネージャーに事故リスクが軽減されることで安心して頂くこと。 センサー導入により、業務内容を見直すことでスタッフの労働環境を改善すること。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 入居者様の転落リスク軽減 スタッフの夜間見守り業務負担軽減 入居者様の睡眠データによる睡眠状況把握および睡眠改善			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入(変更)計画書

法人名 (社会福祉法人 南浜名湖会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 光湖苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド 見守りケアシステム FBR-N132 W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和 元年12月10日	5 台	令和 元年12月10日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<事業概要> ベッドに内蔵された4つの見守りセンサーにより、利用者様の状態に合わせ、見守り設定ができるため、利用者様の状態確認を遠隔で行うことができ、利用者様の精神的負担を軽減しながら、安全の確保、転倒、転落事故の減少、介護職員の精神的、身体的負担軽減も行うことができ、介護業務における効率化を図ることができる。 <導入スケジュール> 令和元年12月10日 機器導入、機械使用方法説明会実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】			
ベッドへ4つの見守りセンサーが内蔵されているため、利用者様が気づくことなく見守りを行うことが可能となり、転倒、転落等の事故防止を図ることができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】(導入後3年間)			
① 利用者様の転倒、転落事故の削減 ② 利用者様の状態把握・分析 ③ 介護職員の見守り業務量及び精神的、身体的負担軽減			
【見守り機器導入により期待される効果等】			
① 利用者様の転倒、転落事故の削減、事故内容の重症化の軽減 ② 1日を通しての状態把握ができ、介護の質の向上を図る ③ 介護職員の負担軽減を図ることで、介護離職を防ぐ			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入(変更)計画書

法人名 (社会福祉法人 南浜名湖会)
 事業所名 (老人短期入所事業 光湖苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド 見守りケアシステム FBR-N132 W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和 元年12月10日	1 台	令和 元年12月10日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
<事業概要> ベッドに内蔵された4つの見守りセンサーにより、利用者様の状態に合わせ、見守り設定ができるため、利用者様の状態確認を遠隔で行うことができ、利用者様の精神的負担を軽減しながら、安全の確保、転倒、転落事故の減少、介護職員の精神的、身体的負担軽減も行うことができ、介護業務における効率化を図ることができる。 <導入スケジュール> 令和元年12月10日 機器導入、機械使用方法説明会実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】			
ベッドへ4つの見守りセンサーが内蔵されているため、利用者様が気づくことなく見守りを行うことが可能となり、転倒、転落等の事故防止を図ることができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】(導入後3年間)			
① 利用者様の転倒、転落事故の削減 ② 利用者様の状態把握・分析 ③ 介護職員の見守り業務量及び精神的、身体的負担軽減			
【見守り機器導入により期待される効果等】			
① 利用者様の転倒、転落事故の削減、事故内容の重症化の軽減 ② 1日を通しての状態把握ができ、介護の質の向上を図る ③ 介護職員の負担軽減を図ることで、介護離職を防ぐ			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人三愛会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム愛華の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド㈱ 「眠りスキャン」			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月30日	10台	令和元年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 特別養護老人ホームの入居者で見守りが必要な方に対し、巡回巡視を要せずに必要な情報を確認できる確な介護サービスを提供できる本システムを導入する。 令和元年8月から介護職員、看護職員等他職種間で活用法を検討する。 令和元年9月に導入予定。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本システム導入にあたり入居者ご本人及びご家族に使用目的や機能について事前に説明する。 個人情報の管理を適切に行う。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 居室内での入居者の状態が把握できることで、職員の身体的・精神的な負担が軽減され介護職員の離職防止に期待ができる。 また、入居者の状態が把握できることで転倒のリスクが軽減し、事故防止にも繋がる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 入居者の離床を把握することができ、転倒のリスクが大幅に軽減される。 巡回巡視に係る業務量を削減でき介護職員の業務の軽減が期待できる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 和松会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 松寿園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	5 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証 2020 年 12 月 施設内で効果検証 2022 年 2 月 施設内で効果検証			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 【②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 和松会)
 事業所名 (松寿園 短期入所生活介護事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	1 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証 2020 年 12 月 施設内で効果検証 2022 年 2 月 施設内で効果検証			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。（検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 【②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 三和会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 第二砂丘寮)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	7 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的 to 実施することにより、見守り負担感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 ②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 三和会)
 事業所名 (第二砂丘寮 ショートステイ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	1 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的 に実施することにより、見守り負担感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 ②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグルー プと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの 変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 遠江厚生園)
 事業所名 (介護老人福祉施設 第二遠州の園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 1 月 年次報告書提出（2 年目） 2021 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 1 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 【②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者の安全確保、本機の使用により、ご利用者より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名（社会福祉法人 聖隷福祉事業団）

事業所名（介護付有料老人ホーム 浜名湖エデンの園）

サービス種別（特定施設入所者生活介護）

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019年9月30日	4台	2019年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご入居者様がベッド上での起き上がりや、離床時に転倒・転落の危険性がある場合には、赤外線センサーや、床敷きセンサー、クリップセンサー等使用したり、見守り回数を増やす等、事故防止に向けて対応している。センサーを設置する事で、感知する時の音や、センサーのオン・オフのライト等違和感を与える原因にもなっている。今回導入予定の離床センサー付きベッドは、市販のセンサーと違い違和感を与える事なく、ベッド上での動きや、離床を察知出来る為ことや、ご入居者の状態によってセンサーのタイプを変更出来る事となる。状態に合わせたセンサーを使用する事で、適切なタイミングで訪室を判断する一助になると考えられる事、介護職員の負担軽減にも繋がると考える。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 各個室に設置する。センサーと連動する通信機器（ナースコール）の対応として、発報時、PHSや受話器を通しての返答は避け、訪室し対応する。センサー反応時には状態や状況を観察するが、不快を感じない様な介入を心がける。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 【目標】居室内（ベッド周囲限定とする）での転倒件数が前年度比20%減少する。 居室内での転倒件数（ベッド周囲限定）を把握し、1年ごとに評価する。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・転倒アクシデントの件数減少。 ・センサーに対する違和感の軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （社会福祉法人信義福祉会）

事業所名 （特別養護老人ホームあかなすの里）

サービス種別 （介護老人福祉施設）

見守り機器の製品名			
株式会社テクノスジャパン 製品名：コールマット・ハイパー、サイドコール・ハイパー			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 1日	1セット+1台	令和元年 8月 20日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見えない所に居る要介護者の状況を把握できることから 1. 負担軽減 ①頻回訪室（訪問）を減らすことができる。 ②ケアにかかる時間を削減することができる。 （導入スケジュール） 令和1年8月 機器導入 令和1年8月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告 / 適時 機器使用方法のフォローアップ及び説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ナースコール及び介護従事者が持つ PHS でのみ放置するシステム			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ①訪室（訪問）回数を現状の1/2に減らす。 ②転倒・転落件数を現状の1/2に減らす。 ③家族と介護スタッフの安心度をUPさせる。 ④介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化をUPさせる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①介護業務の直接的要因（頻回訪室・ケアに要する時間）が軽減される。 ②介護業務の間接的負担（見えない所で起きるケガや事故への不安感や緊張感）が軽減される。 ③介護業務の効率化により、介護者にとってより良い介護が提供でき、介護従事者に充実感や満足感、誇り甲斐が生まれる。 以上により、介護従事者が継続して就労しやすい環境構築に寄与する。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 医療法人 清仁会 ）

事業所名 （ 介護老人保健施設あかつきの園 ）

サービス種別 （ 介護老人保健施設 ）

見守り機器の製品名			
FB-033 L-6 30V M2 フランスベッド 見守りケアシステム M2（低床3モーター+分配器）			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和2年2月29日	10台	令和2年2月29日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドに内蔵されたセンサーにより、利用者様のベッド上の体動や離床動作を正確に感知し、既存のナースコールと連動し、危険を通知することにより、利用者様の状態と安全を見守り、介護職員の業務負担軽減を目指します。 令和元年7月 機器設置事前調査 令和2年2月 機器導入及び説明会 以降、年度ごとに使用状況報告。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 プライバシー保護のためカメラを使用することなく、ベッドに内蔵されたセンサーにより危険予測のアラームをナースコールに通知。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ○利用者様の転倒転落事故の削減 ○居室への巡視回数の削減（特に夜勤帯での業務負担の軽減）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ○利用者様の転倒転落事故が削減することにより、受傷減少。 ○居室への巡視回数やセンサーの誤作動による駆けつけ対応の削減（介護業務負担の軽減）。 ○見守り業務の負担を軽減することにより、介護職員の身体・精神的ストレスを軽減し離職防止を目指す。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 公友会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 ケアホームしあわせ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	9 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的 to 実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 ②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 公友会)
 事業所名 (ケアホームしあわせ ショートステイ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	1 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 ②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団 緑生会)

事業所名 (天王介護老人保健施設)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
株式会社テクノスジャパン 製品名：コールマット・コードレス 標準サイズ（HC-R）			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 30日	10セット	令和元年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 介護従事者の目が届きにくい場所に居る要介護者の状況を把握するため 1. 負担軽減 ①頻回訪室を減らすことができる ②ケアにかかる時間を削減することができる （導入スケジュール） 令和元年 10月 機器導入 以降1年度ごとに使用状況報告 / 適時 機器使用方法のフォローアップおよび説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ナースコール及び介護従事者が持つPHSでのみ報知するシステム			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ①訪室回数を現状の1/2に減らす ②転倒・転落件数を現状の1/2に減らす ③家族と介護者の安心度をUPさせる ④介護従事者の業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化をUPさせる			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①看護・介護業務の直接的要因（頻回訪室・ケアに要する時間）が軽減される ②看護・介護業務の間接的負担（見えない所で起こる怪我や事故への不安感や緊張感）が軽減される ③看護・介護業務の効率化により、介護従事者にとってより良い介護が提供でき、充実感や満足感、やりがい生まれる 以上により、介護従事者が継続して就労しやすい環境構築に寄与する			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 七恵会)
 事業所名 (在宅複合型施設 長上苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的 に実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 【②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグルー プと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの 変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

（注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団明徳会)

事業所名 (介護老人保健施設 エーデルワイス)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン ベッドコール・コードレス BC-RN /			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 30日	6台	令和元年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 利用者を安全に見守るシステムを導入することで、ベッドからの転倒・転落事故を防止します。また、当システムを導入することで不必要な見回りを減らして介護労力の軽減を目指します。 スケジュール：9月に発注→9月30日納品時に職員への操作研修を実施する。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 介護従事者が被介護者へ使用目的を伝え理解してもらうよう努力する。機器の設置をできるだけ目立たないように配慮する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 利用者に対する転倒転落事故の削減 介護職員の業務量削減 利用者の行動パターンの把握			
【見守り機器導入により期待される効果等】 利用者に対する転倒転落事故の削減 介護職員の業務量削減 利用者の行動パターンを把握し有効に役立てる			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (清 水 福 祉 会)

事業所名 (特別養護老人ホーム柏尾の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベット 見守りケアシステム内臓 低床3モータベッド			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和2年1月20日	5台	令和2年1月20日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 令和元年12月中旬 機器設置事前調査 令和2年1月20日（予定） 機器導入・機器使用方法説明会の実施 以後、各年度毎に使用状況報告 適時機械使用方法のフォローアップ説明会の実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者を安全に、また本人に知られることなく見守りができるシステムを導入し、それにより、転倒転落のリスクを軽減する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 転倒・転落事故の減少（3割減少） センサー誤報による駆けつけを減少 3割減少			
【見守り機器導入により期待される効果等】 利用者の、転倒転落事故の減少 誤報が少ないセンサーを採用することで、無駄な駆けつけを減少させ介護労力の軽減を図る			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 恵和会)

事業所名 (特別養護老人ホーム有度の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド FBR-N135 X1 M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年10月15日	4台	令和1年 10月15日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 利用者を安全に、または本人に気づかれずに見守る事が可能なシステムを導入し、ベッドから転落事故の防止を行うことを目的とします。また、だれもが簡単に操作ができるシステムを導入する事で機器設定の手間を省き、更に必要な巡回を減らし介護者の負担を軽減することが出来る。 令和 1 年 9 月 機器設置事前調査 令和 1 年 10 月 機器設置 令和 1 年 10 月 機器オペレーション指導 以降使用状況を確認し報告。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドに内蔵されたセンサーの為、本人に気づかれることなく見守りすることが可能。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ① 利用者の転倒転落事故防止、及び削減 ② 居室の巡回の回数を削減（介護の業務軽減） ③ 利用者の状態分析（今後、タブレットを使用してデータの活用、及び行動パターンの分析）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ① 利用者に対する転倒転落事故防止、及び削減 ② センサーマットを活用する介護負担の軽減 ③ 誤報が少ないセンサーを採用することで無駄なコール対応を削減し介護の負担の軽減を図る			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名 (しあわせの園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上で起き上がり時やベッドの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪問回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守り負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドはご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知すること可能になるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助になると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本器はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判断が可能である。よってご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作も検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法および目標） ① 検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標にします。 ② 検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループ			

を本機を使用しなかったグループで比較をし、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者の安全確保、本機の使用により、ご利用者より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向にあるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （社会福祉法人天竜厚生会）

事業所名 （登呂の家）

サービス種別（介護老人福祉施設）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月31日	4台	令和元年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 利用者を安全に、又本人に知られることなく見守ることが可能なシステムを導入することで、ベッドからの転倒転落事故防止を行います。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで、機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし介護労力の削減を目指します。 平成30年2月 機器導入及び機器使用方法説明会実施。 年度毎に県へ使用状況報告 適宜機器使用方法のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 従来のセンサー類ではご利用者が端座位になっているだけで反応してしまったり、逆にそういうリズムの方であるがゆえに様子を見ている間に転倒してしまったりということがあるため、定期的に訪室する必要がありました。本機器を導入することにより、ご利用者にとって不要な際に訪室することを防げるため、よりプライバシーに配慮できます。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 従来のセンサー類と異なり、ご利用者のリズムを把握し特性に応じた見守りが可能となるため、センサーの反応がなく、いつの間にか転倒、転落していたことを防ぎます。 また、特に新規入所のご利用者に使用することにより、入所後のアセスメントに活かし、転倒・転落を防ぎます。 上記により、転倒・転落のゼロと不必要な見回りを減らし、介護労力を軽減します。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①利用者に対する転倒転落事故の削減 ②ご利用者のリズムを把握し、ご利用者のリズムを尊重した上で転倒・転落を防ぐ ③誤報が少ないセンサーを採用することで無駄な駆け付けを減少させ介護労力の削減を図る			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （社会福祉法人天竜厚生会）

事業所名 （登呂の家ショートステイ）

サービス種別（短期入所生活介護）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月31日	1台	令和元年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 利用者を安全に、又本人に知られることなく見守ることが可能なシステムを導入することで、ベッドからの転倒転落事故防止を行います。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで、機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし介護労力の削減を目指します。 平成30年2月 機器導入及び機器使用方法説明会実施。 年度毎に県へ使用状況報告 適宜機器使用方法のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 従来のセンサー類ではご利用者が端座位になっているだけで反応してしまったり、逆にそういうリズムの方であるがゆえに様子を見ている間に転倒してしまったりということがあるため、定期的に訪室する必要がありました。本機器を導入することにより、ご利用者にとって不要な際に訪室することを防げるため、よりプライバシーに配慮できます。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 従来のセンサー類と異なり、ご利用者のリズムを把握し特性に応じた見守りが可能となるため、センサーの反応がなく、いつの間にか転倒、転落していたことを防ぎます。 また、特に新規入所のご利用者を使用することにより、入所後のアセスメントに活かし、転倒・転落を防ぎます。 上記により、転倒・転落のゼロと不必要な見回りを減らし、介護労力を軽減します。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①利用者に対する転倒転落事故の削減 ②ご利用者のリズムを把握し、ご利用者のリズムを尊重した上で転倒・転落を防ぐ ③誤報が少ないセンサーを採用することで無駄な駆け付けを減少させ介護労力の削減を図る			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入計画書

法人名 (社会福祉法人慶成会)
 事業所名 (特別養護老人ホームグリーンヒルズ東山)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 眠り SCAN NN-1310			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
元年 9 月 13 日	14 台	元年 9 月 13 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 入居者の生活習慣の改善、ケアプランの改善、職員の業務負担軽減のため、特別養護老人ホーム(140床)への見守り支援システム「眠り SCAN」14台の導入 令和元年9月初旬に導入前説明会・勉強会開催 令和元年9月13日導入			
【利用者のプライバシーへの配慮】 非接触型のため、睡眠・覚醒や在床・離床のほか、呼吸数等の情報が手元のタブレット等端末機で確認できるので、ご利用者に安心感を与えられる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間) 令和元年度 機器の使用方法等の習得と見守りセンサーとしての機能を全職員が使いこなせるよう指導し、ご利用者の安全な生活(事故削減等)の向上を図る。 令和2年度 さらなる機能(睡眠リズム・バイタル情報)の有効活用を行い、ご利用者へのサービス向上へとつなげる。 令和3年度 設置台数を増やし、職員業務効率化とご利用者へのサービス向上へとつなげる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ご利用者の安全な生活環境の向上 (転倒事故削減、エスケープ事故削減、タイムリーな所在・状況確認、全身状態のタイムリー把握) ・職員の動きやすい環境づくり (職員見回り回数の減。優先順位を付けての業務可能。先手の介入可能)			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (静岡県厚生農業協同組合連合会)

事業所名 (介護老人保健施設 きよみの里)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
FBR-N135 PS02 M2 見守りケアシステム内蔵低床3モーターベッド（フランスベッド）			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月29日	2セット	令和元年11月29日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 （事業概要） 利用者を安全に、又知られることなく見守ることが可能なシステムを導入することで、利用者のベッドからの転倒転落防止を行います。また、誰もが簡単に操作、セッティング可能なシステムを導入することで機器に必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで、機器設定の手間を省き、職員の見回りの回数を減らし、介護労力の削減を目指します。 （導入スケジュール） 令和元年 8月 機器設置事前調査 令和元年11月 機器導入 令和元年11月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況の報告 適時 機器使用方法のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドにセンサーが内蔵されている為、利用者に知られることなく見守りが可能となる。また巡回の回数が低減することで利用者のプライバシーを守る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ・利用者の転倒転落事故の低減 ・利用者の良質な睡眠の確保 ・居室の巡回回数の低減			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者の転倒転落事故の防止 ・利用者の良質な睡眠、プライバシーの保護 ・職員の介護負担軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

見守り機器導入計画書

法人名 (育清会)

事業所名 (柿田川ホーム)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM-2 FBR-N135W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年 10月 31日	8台	2019年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 令和元年 10月 機器導入 令和元年 11月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告 適時 機器使用方法のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者に対しては、通常の電動ベッドと同様に取り扱って頂く事が可能となります。当該センサーを導入する事でご利用者への身体的・精神的拘束感を与える事はありません。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間) ①転倒・転落事故の減少 : 2割減少 ②見守り減少 : 2割減少			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①利用者に対する転倒転落事故の削減 ②介護職員の身体的・精神的負担の軽減 ③介護職員の離職防止			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入計画書

法人名 (社会福祉法人 育清会)

事業所名 (柿田川ホーム)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM-2 FBR-N135W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年 10月 31日	1台	2019年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 令和元年 10月 機器導入 令和元年 11月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告 適時 機器使用方法のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者に対しては、通常の電動ベッドと同様に取り扱って頂く事が可能となります。当該センサーを導入する事でご利用者への身体的・精神的拘束感を与える事はありません。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間) ①転倒・転落事故の減少：2割減少 ②見守り減少：2割減少			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①利用者に対する転倒転落事故の削減 ②介護職員の身体的・精神的負担の軽減 ③介護職員の離職防止			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人慈照会)

事業所名 (特別養護老人ホーム浜石の郷 (従来型))

サービス種別 (特別養護老人ホーム従来型)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内蔵 低床3モータベッド (FB-033 L-6 30V M-2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和1年10月31日	5台	令和1年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ご利用者を安全に又本人、他者に知られることなく見守りを行うことができるセンサー内蔵のベッドを導入しベッドからの転落・転倒事故防止を行う事を目標とします。また簡単に、ご利用者の状態に合わせたセッティング・操作が可能で、誤報も少ないと考えられる製品を導入し、介護業務の効率化を図り職員の体力的・精神的負担の軽減を目指します。 令和1年9月 機器設置事前調査 令和1年10月 機器導入 令和1年10月 機器使用方法説明会 適時、機器使用方法のフォローアップ説明会の実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサー内蔵型ベッドのため、視覚的にもご本人や他ご利用者の方に知られることなく見守りが可能。また状況確認の訪室回数を減らすことで、ご利用者のプライバシー保護に努める。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間) ①ご利用者のベッドからの転倒、転落事故の削減 ②効率的な見守りが可能となるため、職員の身体的・精神的負担の軽減 ③ご利用者の行動パターンの把握			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ご利用者の安全確保 ・誤報が少ないセンサーを使用することで、介護職員の訪室回数を減らすことができる ・接触型マットセンサーに比べセッティングに手間がいらぬ (マット・配線の設置) また寝心地の異和感がなくなる ・ご利用者の生活リズムを把握することで、個別ケアの充実が図られる ・夜勤業務の不安の軽減			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人慈照会)
 事業所名 (浜石の郷短期入所施設)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内蔵 低床3モータベッド (FB-033 L-6 30V M-2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年10月31日	1台	令和1年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ご利用者を安全に又本人、他者に知られることなく見守りを行うことができるセンサー内蔵のベッドを導入しベッドからの転落・転倒事故防止を行う事を目標とします。また簡単に、ご利用者の状態に合わせたセッティング・操作が可能で、誤報も少ないと考えられる製品を導入し、介護業務の効率化を図り職員の体力的・精神的負担の軽減を目指します。 令和1年9月 機器設置事前調査 令和1年10月 機器導入 令和1年10月 機器使用方法説明会 適時、機器使用方法のフォローアップ説明会の実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサー内蔵型ベッドのため、視覚的にもご本人や他ご利用者の方に知られることなく見守りが可能。また状況確認の訪室回数を減らすことで、ご利用者のプライバシー保護に努める。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ①ご利用者のベッドからの転倒、転落事故の削減 ②効率的な見守りが可能となるため、職員の身体的・精神的負担の軽減 ③ご利用者の行動パターンの把握			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ご利用者の安全確保 ・誤報が少ないセンサーを使用することで、介護職員の無駄な訪室回数を減らすことができる ・接触型マットセンサーに比べセッティングに手間がいない（マット・配線の設置）また寝心地の異和感がなくなる ・ご利用者の生活リズムを把握することで、個別ケアの充実が図られる ・夜勤業務の不安の軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人慈照会)

事業所名 (特別養護老人ホーム浜石の郷 (ユニット型))

サービス種別 (特別養護老人ホームユニット型)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内蔵 低床 3 モーターベッド (FB-033 L-6 30V M-2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 10 月 31 日	4 台	令和 1 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ご利用者を安全に又本人、他者に知られることなく見守りを行うことができるセンサー内蔵のベッドを導入しベッドからの転落・転倒事故防止を行う事を目標とします。また簡単に、ご利用者の状態に合わせたセッティング・操作が可能で、誤報も少ないと考えられる製品を導入し、介護業務の効率化を図り職員の体力的・精神的負担の軽減を目指します。 令和 1 年 9 月 機器設置事前調査 令和 1 年 10 月 機器導入 令和 1 年 10 月 機器使用方法説明会 適時、機器使用方法のフォローアップ説明会の実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサー内蔵型ベッドのため、視覚的にもご本人や他ご利用者の方に知られることなく見守りが可能。また状況確認の訪室回数を減らすことで、ご利用者のプライバシー保護に努める。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後 3 年間) ①ご利用者のベッドからの転倒、転落事故の削減 ②効率的な見守りが可能となるため、職員の身体的・精神的負担の軽減 ③ご利用者の行動パターンの把握			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ご利用者の安全確保 ・誤報が少ないセンサーを使用することで、介護職員の無駄な訪室回数を減らすことができる ・接触型マットセンサーに比べセッティングに手間がいらぬ (マット・配線の設置) また寝心地の異和感がなくなる ・ご利用者の生活リズムを把握することで、個別ケアの充実が図られる ・夜勤業務の不安の軽減			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 嬰育会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム福聚荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウント 離床センサー付ベッド KA-N1710A			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 20 日	4 台	令和 1 年 10 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 （事業概要） 離床センサー付きベッドの導入により、転倒・転落事故の危険性のある利用者様の動きを検知し、ナースコールで知らせるため、事故防止と介護職員の見守り業務の負担軽減に期待できる。 （導入スケジュール） 令和元年 10 月 機器導入・機器使用方法説明			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッド内蔵型である為、ご利用者様に違和感を与えることなく様々な動作を正確に検知する事ができる。よって不要な訪室の減少につながり、よりプライバシーに配慮したケアの提供を行う事が可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） ベッドからの転倒・転落事故を減少し、利用者様が安全に安心して生活できる。介護職員の労力の削減、業務内容の改善を図り、身体的・精神的負担の軽減につなげる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ベッド上での利用者様の動きを正確に検知できるため、転落、転倒の危険をより迅速に回避する事ができ、安全確保が図れる。介護職員の労力の大幅な軽減、時間短縮等の業務内容の改善により「働きやすい職場環境」の実現、職員の定着率アップが期待される。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名（社会福祉法人 嬰育会 ）

事業所名（ 特別養護老人ホーム福聚荘(ユニット) ）

サービス種別（ ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
パラマウント 離床センサー付ベッド KA-N1710A			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 20 日	1 台	令和 1 年 10 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 （事業概要） 離床センサー付きベッドの導入により、転倒・転落事故の危険性のある利用者様の動きを検知し、ナースコールで知らせるため、事故防止と介護職員の見守り業務の負担軽減に期待できる。 （導入スケジュール） 令和元年 10 月 機器導入・機器使用方法説明			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッド内蔵型である為、ご利用者様に違和感を与えることなく様々な動作を正確に検知する事ができる。よって不要な訪室の減少につながり、よりプライバシーに配慮したケアの提供を行う事が可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） ベッドからの転倒・転落事故を減少し、利用者様が安全に安心して生活できる。介護職員の労力の削減、業務内容の改善を図り、身体的・精神的負担の軽減につなげる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ベッド上での利用者様の動きを正確に検知できるため、転落、転倒の危険をより迅速に回避する事ができ、安全確保が図れる。介護職員の労力の大幅な軽減、時間短縮等の業務内容の改善により「働きやすい職場環境」の実現、職員の定着率アップが期待される。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 和光会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 朝霧の園 従来型)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
ベットコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9 月 30 日	2 台	令和元年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守り機器導入により、職員の負担軽減と事故防止に努める			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベットマットレスの上にセンサーパットを敷き、その上にシーツを掛けることで、利用者にセンサーを使用していることを分からないようにする。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 利用者の転倒、転落事故発生件数の減少に伴う介護の質の向上			
【見守り機器導入により期待される効果等】 認知症、理解力が低下した利用者の危険行動を察知し、転倒のリスクを下げる効果を期待する。 職員の業務負担を軽減し、職場環境の改善を期待する。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 和光会 ）
事業所名 （ 特別養護老人ホーム 朝霧の園 従来型 ）
サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 30日	2台	令和元年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守り機器導入により、職員の負担軽減と事故防止に努める			
【利用者のプライバシーへの配慮】 人の見守りではなく、マットを踏むことによるコールセンサーである為、プライバシーを保つことができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 利用者の転倒、転落事故発生件数の減少に伴う介護の質の向上			
【見守り機器導入により期待される効果等】 認知症、理解力が低下した利用者の危険行動を察知し、転倒のリスクを下げる効果を期待する。 職員の業務負担を軽減し、職場環境の改善を期待する。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 和光会 ）
 事業所名 （ 特別養護老人ホーム 朝霧の園 ユニット ）
 サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
ベットコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 30日	2台	令和元年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守り機器導入により、職員の負担軽減と事故防止に努める			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベットマットレスの上にセンサパットを敷き、その上にシーツを掛けることで、利用者にセンサーを使用していることを分からないようにする。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 利用者の転倒、転落事故発生件数の減少に伴う介護の質の向上			
【見守り機器導入により期待される効果等】 認知症、理解力が低下した利用者の危険行動を察知し、転倒のリスクを下げる効果を期待する。 職員の業務負担を軽減し、職場環境の改善を期待する。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名（社会福祉法人 和光会）

事業所名（特別養護老人ホーム 朝霧の園 ユニット）

サービス種別（介護老人福祉施設）

見守り機器の製品名			
コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 30日	2台	令和元年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守り機器導入により、職員の負担軽減と事故防止に努める			
【利用者のプライバシーへの配慮】 人の見守りではなく、マットを踏むことによるコールセンサーである為、プライバシーを保つことができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 利用者の転倒、転落事故発生件数の減少に伴う介護の質の向上			
【見守り機器導入により期待される効果等】 認知症、理解力が低下した利用者の危険行動を察知し、転倒のリスクを下げる効果を期待する。 職員の業務負担を軽減し、職場環境の改善を期待する。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人杉の子 ）
 事業所名 （特別養護老人ホーム住吉杉の子園）
 サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム M-2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月 1日	2 台	令和元年 11月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 入居者の安全の確保と、介護労働負担の軽減を目指し導入いたします。 令和元11月1日 機器導入・使用方法説 令和元年11月5日 機器導入者を検討 令和元年11月8日 機器設置 *使用状況の報告を介護検討委員会にて報告			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッド内蔵型の見守り機器の為、今まで生活との変化を感じる事が少なく、介護者のタイミングが良い訪室となる為、入居者の心身の負担軽減に繋がると考えます。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 入居者の転倒、転落事故防止発生件数の減少 介護職員の見守り業務の軽減による、精神的、身体的ストレスの軽減を図り職員の定着率向上			
【見守り機器導入により期待される効果等】 入居者の転倒、転落事故の軽減による安全の確保 介護職員の労力の軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人御前崎厚生会)

事業所名 (特別養護老人ホーム灯光園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りライフ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 30 日	6 台	2019 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドの4つのキャスターにセンサーを設置し、動き出し・起き上がり・端座位・離床等、各入居者動きを知ることができる。従来から使用しているセンサーマットに比較し、各入居者に対応したリスクマネジメントができることから導入を決める。 8月中に発注を出し、9月中に納品を考えている。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 入居者の動きを知ることにより、タイミングよく訪室ができ本人の眠りを妨げることがない。使用する際に、本人の動きに合わせてセッティングし、リスク回避のために使用することを本人とご家族に説明し、理解を得たい。個人情報厳重に管理する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 夜間、早朝のベッドからの転落、立ち上がりの際の転倒の事故を減らす。 夜勤者がモニターでの見守りができることで、精神的な不安を減らす。 統計のデータを利用し、入居者の健康的な眠りを見守ることができる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 無駄な巡視を減らしタイミングよく訪室ができる。夜勤の労働環境を改善することができる。 毎日の記録を積み重ねることで、生活パターンを把握してケアプランのアセスメントとすることができる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人御前崎厚生会)

事業所名 (灯光園短期入所生活介護事業所)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りライフ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019年 9月 30日	1台	2019年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドの4つのキャスターにセンサーが付き、動き出し・起き上がり・端座位・離床等、各入居者毎のリスクに合わせての動きを知ることができることから、従来から使用しているマットに比較し、細かく、素早い対応ができることから導入を決める。 また、短期入所は情報が少ない中で利用が多くあるが、その方の眠りのパターンをデータとして集めることができる利点がある。 8月中に発注を出し、9月中に納品を考えている。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドのキャスターにセンサーがついていることで、タイミングよく訪室ができ本人の眠りを妨げることがない。使用する際に、本人の動きに合わせてセッティングし、リスク回避のために使用することを本人とご家族に説明し、理解を得たい。取得した情報については個人情報を厳重に管理する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 夜間、早朝のベッドからの転落、立ち上がりの際の転倒の事故を防ぐ。 夜勤者がモニターでの見守りができることで、精神的な不安を減らす。 統計を利用し、短期入所の利用者の情報を得る。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 無駄な巡視を減らしタイミングよく排泄の援助の訪室ができる。 生活パターンを把握することで、朝、本人の目覚めに合わせた起床の援助ができるようになる。 夜勤者の負担を少なくすることで、入居者が安心して夜間を過ごすことができるようになる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 大東福祉会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 くにやす苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	8 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 【②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 大東福社会)
 事業所名 (くによす苑ショートステイ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	1 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐよう対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になったり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援でき、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。 2019 年 11 月 対象機器の導入 2019 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2020 年 1 月 年次報告書提出（1 年目） 2020 年 12 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2021 年 3 月 年次報告書提出（2 年目） 2022 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成 2022 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正常な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。 （検証方法及び目標） ①検証方法：10 段階評価表（添付資料 A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的に実施することにより、見守り感の軽減効果について可視化します。 目標：本機使用により負担感を 2 割軽減することを目標とします。 【②検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を 6 カ月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保、本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除でき、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善、ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知できるため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人寿康会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム徳風園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (フランスベッド低床 3 モーターベッド) FBR-N135 W2/M2 (分配器別)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 1月31日	5 台	令和2年 1月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 今まで、据え置き式センサーマットを中心に、見守りケアを行ってきました。しかしそれでは、転倒転落に間に合わず、転倒後駆けつけるといった事が多々あり、予防の役割が薄かったと思われます。見守りケアシステム M2 は、個人の体動の様子に合わせ、5 段階に設定することができ、リスクを個人に合わせることが可能となります。据え置き式での躓きも無くすることができ、また、センサーを踏みたくない（踏むとコールが鳴り、職員が飛んでくる）という利用者心理の不自然な動きによるバランス低下転倒も防ぐことができます。また、過度な見回りの軽減は職員の精神的介護負担の軽減にもつながります。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサーマットを外すことができますので、本人や同室者（家族や他室の利用者含む）に知られることなく、利用者の安全を確保することができます。 また、不要な訪室も減らすことができますので、よりプライバシーへの配慮となります。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間) ベッド周囲での転倒、転落事故を未然に防ぎ、ベッド周囲での骨折事故を「0」にする。 毎年、転倒事故の統計を取っていき、上記の事故状況を把握する。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・転倒・転落事故の予兆感知の設定を利用者個人にあわせることにより予防効果が期待できる。 ・車いすからベッドへの移乗の際の転倒事故は、M2 では防げないが、逆の移乗での事故は防げるので、他の工夫を併用しやすくなる。 ・不必要な、また、神経を尖らせて居る必要が薄れるので、介護職員の労力軽減が期待できる			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所を下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 珀寿会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 高部陽光園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマット 徘徊コールⅢ ケーブルタイプ 超音波・赤外線コール			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 30日	コールマット 7セット 赤外線コール 1セット	令和1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守り機器導入により、事故予防及び職員の心身への負担軽減を図る。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 マットを踏むことでセンサーが反応するため訪室の回数が減り、プライバシーを保つことができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 （導入後3年間） ・入居者様の転倒転落事故の削減 ・身体拘束者数の削減			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・入居者様の安全確保 ・介護職員の労力の軽減			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団 友成医院)
 事業所名 (介護老人保健施設 きらりの森)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
株式会社 テクノスジャパン 製品名：コールマット・徘徊コールⅢ (HC-3)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 7日	1	令和1年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見えない所に居る要介護者の状況を把握できることから 1. 利用者の歩行時の危険防止に繋がる。 2. 利用者が安心して暮らすことができる。 3. 利用者の行動に対して早めに対応できる。 (導入スケジュール) 令和1年 9月 機器導入 令和1年 9月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告/適時 機器使用方法のフォローアップ及び説明会を実施 【利用者のプライベートへの配慮】 ナースコール及び介護従事者が持つ PHS でのみ報知するシステム。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（毎年報告） ① 転倒・転落件数を現状の 1/2 に減らす。 ② 家族と介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化を UP させる。 ③ 介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化を UP させる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ① 介護業務の直接的要因（頻回訪室・ケアに要する時間）が軽減される。 ② 介護業務の間接的負担（見えない所で起きるケガや事故への不安感や緊張感）が軽減される。 ③ 介護業務の効率化により、介護者にとってより良い介護が提供でき、介護従事者に充実感や満足感遣り甲斐が生まれる。 以上により、介護従事者が継続して就労しやすい環境構築に寄与する。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団 友成医院)
 事業所名 (介護老人保健施設 きらりの森)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
株式会社 テクノスジャパン 製品名：ペットコール・ケーブルタイプ (BC-2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 7日	1	令和1年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見えない所に居る要介護者の状況を把握できることから 1. 利用者の危険防止、転倒リスクを少なくする。 2. 利用者が安心して暮らすことができる。 3. 利用者の行動に対して早めに対応できる。 (導入スケジュール) 令和1年 9月 機器導入 令和1年 9月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告/適時 機器使用方法のフォローアップ及び説明会を実施 【利用者のプライベートへの配慮】 ナースコール及び介護従事者が持つ PHS でのみ報知するシステム。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（毎年報告） ① 転倒・転落件数」を現状の1/2に減らす。 ② 家族と介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化をUPさせる。 ③ 介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化をUPさせる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ① 介護業務の直接的要因（頻回訪室・ケアに要する時間）が軽減される。 ② 介護業務の間接的負担（見えない所で起きるケガや事故への不安感や緊張感）が軽減される。 ③ 介護業務の効率化により、介護者にとってより良い介護が提供でき、介護従事者に充実感や満足感、遣り甲斐が生まれる。 以上により、介護従事者が継続して就労しやすい環境構築に寄与する。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団 友成医院)

事業所名 (介護老人保健施設 きらりの森)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
株式会社 テクノスジャパン 製品名：サイドコール・ケーブルタイプ (SC-11)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 7日	1	令和1年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見えない所に居る要介護者の状況を把握できることから 1. 利用者の危険防止、動きを把握できる。 2. 利用者が安心して暮らすことができる。 3. 利用者の行動に対して早めに対応できる。 (導入スケジュール) 令和1年 9月 機器導入 令和1年 9月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告/適時 機器使用方法のフォローアップ及び説明会を実施 【利用者のプライベートへの配慮】 ナースコール及び介護従事者が持つ PHS でのみ報知するシステム。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (毎年報告) ① 転倒・転落件数を現状の 1/2 に減らす。 ② 家族と介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化を UP させる。 ③ 介護スタッフの業務及び精神面の負担軽減・業務の効率化を UP させる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ① 介護業務の直接的要因（頻回訪室・ケアに要する時間）が軽減される。 ② 介護業務の間接的負担（見えない所で起きるケガや事故への不安感や緊張感）が軽減される。 ③ 介護業務の効率化により、介護者にとってより良い介護が提供でき、介護従事者に充実感や満足感、遣り甲斐が生まれる。 以上により、介護従事者が継続して就労しやすい環境構築に寄与する。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所を下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団博恵会)

事業所名 (介護老人保健施設アリス草薙)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内臓低床 3 モーターベッド FB-033 L-6 30V M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 1 日	5 台	令和元年 11 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 事業概要：ご利用者のベッドからの離床につながる動きを検知し、通知する機能を有する、見守り機器のついたベッドを導入することで、自立での歩行が不安定なご利用者の事故防止、職員の業務の負担軽減を図る。導入機器は使い方を誤ると、ご利用者のプライバシーを侵害する恐れがあり、事業の目的に沿い、慎重に使用することとする。 導入スケジュール：11 月 1 日納品。併せて職員への操作方法習得のための研修会を実施。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本製品を導入するにあたり、「ご利用者の意思および尊厳を守ること」「取り入れた情報は決して漏洩しない」の 2 点について徹底を図っていく方針。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） ご利用者の行動パターンを把握することにより、転倒・転落事故の削減を図るとともに、ご利用者一人ひとりに適した介護の提供につなげていく。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ご利用者の転倒・転落事故が削減するとともに、ご利用者の状況確認のため、職員が療養室に巡回する回数が減少することにより、特に夜間時の職員の精神的および身体的な負担の軽減が図られる。ご利用者の転倒・転落事故が減ることは、職員の精神的な負担を大きく軽減する。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名（ 社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会 ）

事業所名（ 特別養護老人ホーム ディアコニア ）

サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FBD-N136 W1/M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月30日	8台	令和元年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 令和元年9月中に発注 令和元年9月末までに納品 納品と同時に職員への操作研修を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 カメラや画像データは取り扱わず、センサーを稼働させるタイミングを設定できることから、過度な見守りや訪室を避けることができ、見守られる側の心身のストレスを軽減できる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ・利用者の転倒転落事故の削減 ・介護職員の見守りの業務量及び精神的、身体的ストレスの軽減			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者の転倒転落事故の減少（適切なタイミングでセンサーが反応し、早い段階での介助が可能となる。又、センサーマットにつまずいての転倒事故が減る。） ・夜間を中心に生活リズムが把握しやすくなるため、最適なタイミングで訪室ができ、利用者、介護者の両方で精神的、身体的ストレスが軽減できる			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名（ 社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会 ）

事業所名（ ディアコニア・ショートステイ ）

サービス種別（ 短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FBD-N136 W1/M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月30日	1台	令和元年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 令和1年9月中に発注 令和1年9月末までに納品 納品と同時に職員への操作研修を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 カメラや画像データは取り扱わず、センサーを稼働させるタイミングを設定できることから、過度な見守りや訪室を避けることができ、見守られる側の心身のストレスを軽減できる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ・利用者の転倒転落事故の削減 ・介護職員の見守りの業務量及び精神的、身体的ストレスの軽減			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者の転倒転落事故の減少（適切なタイミングでセンサーが反応し、早い段階での介助が可能となる。又、センサーマットにつまずいての転倒事故が減る。） ・夜間を中心に生活リズムが把握しやすくなるため、最適なタイミングで訪室ができ、利用者、介護者の両方で精神的、身体的ストレスが軽減できる			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (株式会社 望洋会)
 事業所名 (介護老人保健施設のぞみ)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守りケアシステムM2			
FBR-N135 PS02/SU/M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
R元年 9月30日	6台	R元年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 利用者を安全に見守る事が可能でベッドからの転落・転倒事故防止を目標と致します。また、入所者さまの行動履歴分析が出来、リスクの予測管理・ケアの質の向上と介護労力の削減を目指します。 R元年9月機器導入・9月機器使用方法の説明会、実施以後、年度毎使用状況報告。 適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドに内蔵されたセンサーであるため、本人に知られることなく見守る事が出来る。 また、タイミングの良い訪室が可能となり、見守られる側の心身の負担を軽減することが出来る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 1、利用者の転倒・転落事故の削減 2、居室の巡回回数の削減（介護職員等の業務量削減） 3、利用者の状況分析（蓄積されたデーターを活用し、行動パターンを分析する）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 1、利用者に対する転倒・転落事故の削減 2、介護労力の削減 3、誤報が少ないセンサーを採用することで、無駄な駆付けを減少させ、利用者ならび職員のストレス軽減に努められる。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人斉慎会)

事業所名 (特別養護老人ホーム西之島の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社「眠り SCAN」 NN-1310			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 2 年 3 月 1 日	8 台	令和 2 年 3 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 入居者のベッドのマットレスの下に「眠り SCAN」本体を設置し、無線 LAN によりデータ通信を行いリアルタイムにパソコンで入居者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）、呼吸数をモニターに表示する。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ○モニターは、寮母室内に設置する。 ○個人情報の管理を適切に行う。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 （導入後 3 年間） ○居室内での入居者の状態が分かることで、職員の身体的・精神的負担が軽減され、介護職員の離職防止や職場への定着に資する。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ○居室内での入居者の状態が分かることで、職員の身体的・精神的負担が軽減され、介護職員の離職数が減り、定着率が上がると期待できる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団 和恵会)
 事業所名 (入野ケアセンター)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン コールマット・徘徊コールⅢ HC-3			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
R1年 9月 30日	11台	R1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 利用者の転倒予防の為、コールマット・徘徊コールⅢ 11台を令和元年9月30日導入			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者様を監視するのではなく、マットを踏むことによるコールセンサーであるため、利用者様のプライバシーを保つことが出来る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 転倒回数を導入前3年間と比較して5%減 介護職員離職率を導入前3年間と比較して5%減			
【見守り機器導入により期待される効果等】 入所者様の転倒回数削減と介護職員離職防止			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入計画書

法人名 (社会福祉法人 行和会)

事業所名 (特別養護老人ホーム葵の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
①超音波・赤外線コール HUI-R (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
②ベッドコール・コードレス BC-RN (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 25 日	①×1 台 ②×4 台	2019 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 2019 年 9 月 25 日に納品し、随時必要な利用者様に使用していく。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサーがご利用者様の動きに反応したとしても、不必要な介助は行わず、事故の危険性や転倒のリスクがある際に、行動自体を抑制しないよう介助に入る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後 3 年間) センサーマットの設置により、夜間等に多動なご利用者様の動きだしに職員が反応し、ベッドからの転倒、転落の事故を減少させる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ 転倒、転落事故の減少 ・ 危険行動への迅速な対応			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入計画書

法人名 (社会福祉法人 行和会)
 事業所名 (地域密着型介護老人福祉施設 こうこうの里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
①超音波・赤外線コール HUI-R (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
②ベッドコール・コードレス BC-RN (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 25 日	①×1 台 ②×1 台	2019 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 2019 年 9 月 25 日に納品し、随時必要な利用者様に使用していく。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサーがご利用者様の動きに反応したとしても、不必要な介助は行わず、事故の危険性や転倒のリスクがある際に、行動自体を抑制しないよう介助に入る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後 3 年間) センサーマットの設置により、夜間等に多動なご利用者様の動きだしに職員が反応し、ベッドからの転倒、転落の事故を減少させる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ 転倒、転落事故の減少 ・ 危険行動への迅速な対応			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書



法人名（医療法人社団 山川会）
事業所名（介護老人保健施設ケアセンター芳川）
サービス種別（介護老人保健施設）



見守り機器の製品名			
テクノスジャパン 座コール・メロディタイプ、テクノスジャパン コールマット・コードレス MSN1200R/HC-R ケアコム、メディプロ ワイヤレスマットセンサー			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年9月 30日	座コール・メロディタイプ2台、コールマット・コードレス MSN1200R/HC-R ケアコム4台、メディプロ ワイヤレスマットセンサー4台	令和1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 テクノスジャパン 座コール・メロディタイプを2台、テクノスジャパン コールマット・コードレス MSN1200R/HC-R ケアコムを4台、メディプロ ワイヤレスマットセンサー4台を令和1年9月30日に購入する。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 センサーマットには薄いカーペットを被せ、車イスの座面にはクッションを設置し、入所者の生活に支障をきたさないよう配慮する。使用時には利用者と家族に十分な説明をしたうえで使用する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 見守り機器導入により、職員の不要な見守りが無くなることで、入所者のプライバシーの確保を向上させ、また、入所者の危険な状態を事前に知ることができることにより、転倒、転落の件数を減少させる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 見守り回数の減少及び、危険の事前の察知により職員の身体的、精神的な負担の軽減につなげると共に、事故の可能性が起因する不必要な責任感を払拭することで、職員が安心感をもって業務に従事し、結果としてサービス提供の品質の向上及び雇用の定着率の向上を期待することができる。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 株式会社グリーンランド ）

事業所名 （ ナーシングホーム 静養館御前崎オーシャンビュー ）

サービス種別 （ 特定施設入居者生活介護 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N135 PS02/SU/M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 1 日	8 台	令和元年 11 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 （事業概要） 当該機器システムを導入することにより、ご本人に違和感を与えることなく、プライバシーも保護しながら、ベッド上での動きを検知することが可能となる。これにより、利用者様のベッドからの転倒転落を予防、安全を確保することを目指す。より適時に安全な介護の提供が可能となるため、介護業務の効率化と介護職員の精神的、身体的負担軽減も目指す。 （導入スケジュール） 令和元年 10 月 機器設置事前調査 令和元年 11 月 機器導入 令和元年 11 月 機器使用方法説明会実施 以降、各年度に使用状況報告。適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドに内蔵されたセンサーである為、視覚的にもご本人に知られる事なく、自尊心や自立心を損なうことなく、見守ることが可能。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） ・利用者様の転倒転落事故防止 ・利用者様のプライバシーを守りながら、適切な訪室の実施 ・利用者様の状態分析			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者様の転倒転落事故防止 ・利用者様のストレス削減 ・利用者様の行動を制限することなく、適時安全な介護提供が可能となり、利用者様と介護者の信頼関係の向上			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 株式会社ナガシマ ）

事業所名 （ ナーシングホーム静養館 ）

サービス種別 （ 特定施設入居者生活介護 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N135 PS02/SU/M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 1 日	4 台	令和元年 11 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 （事業概要） 当該機器システムを導入することにより、ご本人に違和感を与えることなく、プライバシーも保護しながら、ベッド上での動きを検知することが可能となる。これにより、利用者様のベッドからの転倒転落を予防、安全を確保することを目指す。より適時に安全かつ迅速な介護の提供が可能となるため、介護業務の効率化と介護職員の精神的、身体的負担軽減も目指す。 （導入スケジュール） 令和元年 10 月 機器設置事前調査 令和元年 11 月 機器導入 令和元年 11 月 機器使用方法説明会実施 以降、各年度に使用状況報告。適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドに内蔵されたセンサーである為、視覚的にもご本人に知られる事なく、自尊心や自立心を損なうことなく、見守ることが可能。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） ・利用者様の転倒転落事故防止 ・利用者様のプライバシーを守りながら、適切な訪室の実施 ・利用者様の行動・状態分析			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・利用者様の転倒転落事故予防 ・利用者様のストレス削減 ・利用者様の行動を制限することなく、適時安全な介護提供が可能となり、利用者様と介護者の信頼関係の向上			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人十字の園)

事業所名 (松崎十字の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
眠り SCAN			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 30 日	2 台	2019 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 既に、モニターにて試用した結果、利用者様の行動にあわせた介護ができ、職員の夜間労務改善に繋がると期待できる機器であると思われる。導入スケジュールについては納入時期に合わせ、該当利用者に利用活用予定。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者本人及び、ご家族に機器を使用許可を得た上で、個別支援に必要な情報以外は、漏洩厳守する。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 利用者の看取り・睡眠状態の情報把握により介護・看護の連携に繋がり、個別支援計画を立て、利用者にとってより良い援助することを目指したい。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 「眠り SCAN」導入により夜勤者の不安軽減ができ、利用者の身体状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）の把握ができことでより良い個別支援が効果として期待される。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (医療法人社団健社会)

事業所名 (介護老人保健施設アポロン)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド(株)エスパシアシリーズKA-N1470F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12月 21日	10台	令和元年 12月 21日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 一般入所 100名 補助金交付決定次第購入手配			
【利用者のプライバシーへの配慮】 巡回、入室を最小限に抑え利用者の生活リズムを守る			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 介護事故削減と介護者の介護負担の軽減			
【見守り機器導入により期待される効果等】 転倒転落事故防止			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 千寿の園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守り支援ベッドシステム エスパシアシリーズ (KA-N1710J)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月31日	7床	令和元年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ◎事業概要 見守り支援ベッドシステムを導入することで、利用者の安全を確保しつつ、職員の心身の負担の軽減を図りたい。利用者の状態や状況に合わせた設定ができることから、利用者の意思を尊重し、なおかつ自立心を損なわせることなく支援する体制を作っていく。介護職員の見守りにおいても訪室を判断する一助にもなると考えられるため、介護職員の負担の軽減や安心して介護できる環境を整えたい。 ◎導入スケジュール R1. 7月 機器設置事前調査 ・ R1. 12月 機器導入及び使用方法の説明会実施 以降、適時、機器の使用方法等のフォローアップ説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドにセンサーが内蔵されているため、利用者自身に知られることなく見守りすることができる。状況確認のための巡回回数が低減できることで利用者のプライバシーを守ることができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ◎利用者の転倒転落事故の削減 ◎介護職員の業務量削減と効率化が図れる （居室への巡回回数の削減・時間短縮・精神的、肉体的ストレスの軽減等）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 利用者の生活においては、転倒や転落事故の削減につながり、安全に生活を送ることができる。また、職員においても、従来のマットセンサーより確実なセンサー感知により、業務量の削減ができ身体的、精神的な疲労感も軽減できる。また、最新のシステムを導入することでケアに対する知見を広げることが出来る。と考える。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 白翁会 ）
 事業所名 （ 特別養護老人ホーム 千寿の園 ）
 サービス種別 （ 短期入所生活介護 ）

見守り機器の製品名			
見守り支援ベッドシステム エスパシアシリーズ（KA-N1710J）			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月31日	1床	令和元年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ◎事業概要 見守り支援ベッドシステムを導入することで、利用者の安全を確保しつつ、職員の心身の負担の軽減を図りたい。利用者の状態や状況に合わせた設定ができることから、利用者の意思を尊重し、なおかつ自立心を損なわせることなく支援する体制を作っていく。介護職員の見守りにおいても訪室を判断する一助にもなると考えられるため、介護職員の負担の軽減や安心して介護できる環境を整えたい。 ◎導入スケジュール R1. 7月 機器設置事前調査 ・ R1. 12月 機器導入及び使用方法の説明会実施 以降、適時、機器の使用方法等のフォローアップ説明会を実施 【利用者のプライバシーへの配慮】 ベッドにセンサーが内蔵されているため、利用者自身に知られることなく見守りすることができる。状況確認のための巡回回数が低減できることで利用者のプライバシーを守ることができる。 【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ◎利用者の転倒転落事故の削減 ◎介護職員の業務量削減と効率化が図れる （居室への巡回回数の削減・時間短縮・精神的、肉体的ストレスの軽減等） 【見守り機器導入により期待される効果等】 利用者の生活においては、転倒や転落事故の削減につながり、安全に生活を送ることができる。また、職員においても、従来のマットセンサーより確実なセンサー感知により、業務量の削減ができ身体的、精神的な疲労感も軽減できる。また、最新のシステムを導入することでケアに対する知見を広げることが出来ると考える。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 信愛会)

事業所名 (和みの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
ペイシェントウォッチャーPlus			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9 月 30 日	8 台	令和元年 9 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守りセンサーを導入することで遠隔でのご利用者様の見守りが可能になり、ご利用者様の個別に合ったケアを実践し、ご本人の自立と尊厳を守りながら安全に生活援助していく。職員の業務負担が軽減でき、ケアの質の向上へ繋げる。 令和元年 9 月 導入予定。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ご利用者様の居室への訪室を必要最小限に抑えることができ、過剰な介入がなくなることで、ご利用者様のペースに合った居室での生活を安全に送ることができる。また、身体拘束ゼロ宣言におけるスピーチロックを防ぐことができる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） ① ご利用者様の自立と尊厳を守りながら安全に生活援助ができる。 ② ご利用者様へのケアの質の向上 ③ 職員の業務負担軽減（特に夜間帯）			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・職員の過剰な介入がなくなり、ご利用者様のペースで安全に生活を送ることができる。 ・見守りシステムのデータからアセスメントツールとして活用できる。 ・職員の業務負担を軽減し、ケアの質の向上に繋がる。			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 喜久の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド(株) 見守り支援ベッドシステム KA-N1710 J			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年12月31日	5台	令和1年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 今回導入予定の「見守り支援ベッドシステム」は、利用者に違和感を与えることなくベッド上での動きを感知する事が可能となるため、より適切なタイミングでの訪室を判断する一助になると考えられる。そのため、介護職員が気付きやすい距離でケアができ、利用者への対応や気付きの遅れが少なくなることで、職員自身の体力的負担や心的な疲労感の軽減につながる事が期待できる。 令和1年10月：機器設置事前調査 令和1年12月：機器導入・使用方法説明 以降、各年度ごとに使用状況報告。適宜、業者による機器使用方法のフォローアップ説明。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者に違和感を与えることなくベッド上での動きを感知する事が可能となるため、より適切なタイミングでの訪室を判断する一助になると考えられ、プライバシーに配慮したケアを提供する事が出来る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間) 見守り機器を導入する事により、介護職員の身体的・精神的負担の軽減を目指すと共に、職員の定着化、離職率の減少につなげる。 また、利用者のベッドからの転落や転倒のリスクを軽減し、介護事故の減少につなげる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 介護職員の身体的・精神的負担の軽減により職場環境の改善にもつながり、職場への定着化、離職率の減少が期待される。 利用者のベッドからの転落や転倒リスクが回避でき、介護事故の減少が期待される。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (喜久の園)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド(株) 見守り支援ベッドシステム KA-N1710 J			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年12月31日	5台	令和1年12月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 今回導入予定の「見守り支援ベッドシステム」は、利用者に違和感を与えることなくベッド上での動きを感知する事が可能となるため、より適切なタイミングでの訪室を判断する一助になると考えられる。そのため、介護職員が気付きやすい距離でケアができ、利用者への対応や気付きの遅れが少なくなることで、職員自身の体力的負担や心的な疲労感の軽減につながる事が期待できる。 令和1年10月：機器設置事前調査 令和1年12月：機器導入・使用方法説明 以降、各年度ごとに使用状況報告。適宜、業者による機器使用方法のフォローアップ説明。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 利用者に違和感を与えることなくベッド上での動きを感知する事が可能となるため、より適切なタイミングでの訪室を判断する一助になると考えられ、プライバシーに配慮したケアを提供する事が出来る。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 見守り機器を導入する事により、介護職員の身体的・精神的負担の軽減を目指すと共に、職員の定着化、離職率の減少につなげる。 また、利用者のベッドからの転落や転倒のリスクを軽減し、介護事故の減少につなげる。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 介護職員の身体的・精神的負担の軽減により職場環境の改善にもつながり、職場への定着化、離職率の減少が期待される。 利用者のベッドからの転落や転倒リスクが回避でき、介護事故の減少が期待される。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 富士厚生会)

事業所名 (シャローム富士川)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 眠り SCAN			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月30日	3台	令和元年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 本機を導入する事により、入居者様の状態や生活パターンをより詳細に把握する事が出来、入居者様それぞれにあった支援が行えると考えます。 また、居室での状況が見える化される事で、介護職員の精神的負担の軽減、効率的な業務が行えると考えます。 (導入スケジュール) 令和元年9月 機器導入 令和元年9月 機器使用方法説明会実施 以降 各年度毎に使用状況報告 / 適時 機器使用方法のフォローアップ及び説明会を実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 入居者様及びご家族様へ説明を行い、同意を得てから使用いたします。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 見守り機器導入により、転倒、転落の低減を含めた入居者様の見守り支援と個々に合わせたサービス提供、介護職員の負担軽減を目標とします。 ①点等回数の低減目標 - 15% ②訪室回数を減らす事による見守り時間の低減目標- 15%と空いた時間の有効活用			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ①居室での状況の見える化により、スタッフの精神的負担の軽減が可能となります。 ②訪室タイミングの最適化が可能となります。 ③日常生活パターンの把握が容易になり、個々に合わせたサービスの提供が可能となります。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人葉月会 ）

事業所名 （ 亀寿の郷 ）

サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
コールマットコードレス HC-R (MSN1200R) ⑭A3NF			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
1年9月30日	5台	1年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 ADL低下、認知症などで要介護状態のご利用者様のベッドからの転倒事故を予防し、ご利用者様の安全確保を目指します。また、見守り機器導入により介護業務の効率化、職員の精神的、身体的負担の軽減を図ることを目的とします。 【導入スケジュール】 令和1年8月7日；機器導入事前調査 令和1年9月30日；機器導入 令和1年9月30日；機器使用方法説明会実施 以降、機器使用方法のフォローアップ説明会実施			
【利用者のプライバシーへの配慮】 コールマットコードレスは床になじみやすい配色でケーブルがないものを選択し、他ご利用者様に視覚的にわかりずらく、また、使用する必要がないときは折りたたみ収納しやすいものを購入したいと考えています。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 1、介護職員の介護負担の軽減。介護職員の離床防止。 操作、移動、設置も簡単なコールマットコードレスを導入し、介護業務の効率化を図ります。また、転倒につながる動作を遠隔把握し、不要な見回りを減らし介護職員の精神的、身体的負担の軽減を目指します。 2、転倒事故の軽減 ご利用者様のベッドからの転倒事故を無くし、骨折や怪我なくお元気に過ごしていただける生活を目指します。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

- 1、ご利用者様の転倒事故の削減。
- 2、介護業務の効率化により、介護職員の精神的、身体的介護負担の軽減。介護職員の離職防止。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人県民厚生会)
 事業所名 (特別養護老人ホームきらら藤枝)
 サービス種別 (老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守り支援システム「眠りSCAN」 (NN-1310)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和2年1月31日	7台	令和2年1月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 見守り支援システム「眠りSCAN」をご利用者居室のマットレスの下に設置して、ご利用者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸・心拍数）をリアルタイムで測定します。このデータはPC・タブレット・スマホに通知され、危険につながる予兆動作を早期に検知して対応できます。また、蓄積データの見える化で、ケア改善と業務負担改善を図ることが可能となります。 導入時期は、令和2年1月を予定し、2～3ヶ月の機器に慣れるための期間（業者による教育・指導）を設けた後、令和2年度をめぐりに本格運用を計画しています。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 ① ご利用者・ご家族への説明を行い、同意を得た方より運用を開始します。 ② ご利用者の画像データではなく、探知・測定データのみを取り扱います。 ③ データは、管理PC・タブレットにて、施設・事業所が厳格管理します。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） ① 転倒回数・転倒者数の10%削減を目指します。 ② 夜間見守り巡回を2時間に1回を、リスクの低い方は3～4時間に1回に減らし、業務負担を軽減します。			
【見守り機器導入により期待される効果等】 ・ご利用者個々の傾向やリスクを把握・評価し、最適な個別ケアにつなげることができる。 ・測定データをご家族に報告し、施設・ご家族間の連携を深め、安心感を高めることができる。 ・見守り職員の精神的緊張によるストレスを緩和できる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人ほなみ会)

事業所名 (特別養護老人ホーム南風)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマントベッド株式会社 エスパシア 介護用電動3モーターベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月1日	5台	令和元年11月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 現在、入居者がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転倒・転落などが想定される場合に、床敷き式のセンサーマットを設置したり、訪室回数を増やして見守りを強化することで、事故を未然に防ぐように対応している。しかしながら、床敷き式センサーマットのデメリットとして、入居者がセンサーマット本体や配線コードに躓き、転倒が誘発することが挙げられる。 今回導入する離床センサー付き介護用電動ベッドは、危険認識が不十分な入居者の体の動きをベッド上で検知するものであり、入居者が安全に違和感なく使用することができる。そして、入居者の動きをベッド上で検知することで、介護職員が適切なタイミングで訪室することができ、介護職員の負担感の軽減、安心感の醸成に寄与すると考えられる。 (導入スケジュール) 令和元年11月 対象機器の導入（購入） 令和2年3月 施設内で効果検証、及び年次報告書の作成 令和2年4月 年次報告書提出（1年目） 令和3年3月 施設内で効果検証、及び年次報告書の作成 令和3年4月 年次報告書提出（2年目） 令和4年3月 施設内で効果検証、及び年次報告書の作成 令和4年4月 年次報告書提出（3年目）			
【利用者のプライバシーへの配慮】 本機はベッドに内蔵されている荷重センサーが、入居者の体の動きによる荷重の変化を検知することで、従来の床敷き式センサーマットと比較しても、入居者の体の動きの初期段階で正確な検知が可能である。よって、危険認識が不十分な入居者の様々な行動に対して、入居者に違和感を与えることなく検知することができ、プライバシーに配慮した援助（ケア）が可能となる。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間） 機器導入により、①介護職員の負担感を軽減する。②介護事故の軽減・防止を目的とする。 ①介護職員の負担感を軽減する。 本機を使用した場合、床敷き式センサーマットを使用した場合、それらを使用しなかった場合の介護業務（見守り）の負担感について、介護職員を対象にアンケートを実施する。本アンケートを定期的に実施し、介護業務（見守り）の負担感の軽減効果の程度を可視化する。 ②介護事故の軽減・防止を目的とする。 介護事故・ヒヤリハットの事例が発生した場合に報告書の作成を行い、報告書をもとに3か月毎に法人内で開催される事故防止委員会で検討する。そして、本機導入前と本機導入後の変化を測定・考察する。			

【見守り機器導入により期待される効果等】

① 介護職員の負担感を軽減する。

危険認識が不十分な入居者に対して、床敷き式センサーマットの使用や巡回頻度を増やして対応する必要がある、介護職員の不安感や身体的負担となっている。本機は入居者の体の動きをベッド上で検知できるため、危険認識が不十分な入居者が移動動作に入る前に、訪室や声掛け、援助が可能であり、転倒の危険性等に対する職員の不安感や巡回頻度の効率化ができ、身体的負担の軽減が期待できる。

② 介護事故の軽減・防止を目的とする。

本機の使用により、入居者の体の動きをベッド上で検知することが可能となる。また、床敷き式センサーマットのように、入居者のベッド周辺にセンサーマット本体や配線コード等を設置する必要があるため、躓きの危険性を助長するものを除去することができ、事故の軽減・防止が期待できる。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人春風会)

事業所名 (あしたかホーム)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

見守り機器の製品名			
エスパシアシリーズ超低床ベッド 離床 CATCH+3 モーター			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	2 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドに内蔵された荷重センサーにより、利用者のさまざまな動作（起き上がり、端座位、離床、見守り）が検知できます。ナースコール中継ユニットを介して測定データは既存の携帯端末でリアルタイムに確認できることから、利用者の危険につながる予兆動作を早期に把握でき見守ることができ業務負担軽減が可能となります。導入は 10 月中旬に発注し 11 月 29 日納品、設置し、その後に運用を予定しています。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 1. 利用者及びご家族に説明をおこない、同意を得てから実施します。 2. 利用者のさまざまな動作情報は、画像データでなく通知音で受け取ります。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 転倒・転落の低減を含めた利用者の見守り支援と個々に合わせたサービス提供（適切なタイミングでの訪室含め）、介護負担の軽減を目的とします。 ①転倒・転落による介護事故“ゼロ”を目指す ②適切なタイミングでの訪室により、訪室回数と見守り時間の軽減と空いた時間の有効活用			
【見守り機器導入により期待される効果等】 1. さまざまな動作を正確に検知できることで、行動の変化が予測でき、職員の精神的負担の軽減と安心・安全な介護サービスの提供が可能となる。 2. 訪室タイミングの最適化（夜間時の安眠の妨げの軽減） 3. 床上 15.5cm と超低床タイプのベッドなので布団生活だった方にも使用しやすく、職員の身体的負担の軽減が可能となる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人春風会)

事業所名 (ニューあしたかホーム)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

見守り機器の製品名			
エスパシアシリーズ超低床ベッド 離床 CATCH+3 モーター			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	3 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 ベッドに内蔵された荷重センサーにより、利用者のさまざまな動作（起き上がり、端座位、離床、見守り）が検知できます。ナースコール中継ユニットを介して測定データは既存の携帯端末でリアルタイムに確認できることから、利用者の危険につながる予兆動作を早期に把握でき見守ることができ業務負担軽減が可能となります。導入は 10 月中旬に発注し 11 月 29 日納品、設置し、その後に運用を予定しています。			
【利用者のプライバシーへの配慮】 1. 利用者及びご家族に説明をおこない、同意を得てから実施します。 2. 利用者のさまざまな動作情報は、画像データでなく通知音で受け取ります。			
【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間） 転倒・転落の低減を含めた利用者の見守り支援と個々に合わせたサービス提供（適切なタイミングでの訪室含め）、介護負担の軽減を目的とします。 ①転倒・転落による介護事故“ゼロ”を目指す ②適切なタイミングでの訪室により、訪室回数と見守り時間の軽減と空いた時間の有効活用			
【見守り機器導入により期待される効果等】 1. さまざまな動作を正確に検知できることで、行動の変化が予測でき、職員の精神的負担の軽減と安心・安全な介護サービスの提供が可能となる。 2. 訪室タイミングの最適化（夜間時の安眠の妨げの軽減） 3. 床上 15.5cm と超低床タイプのベッドなので布団生活だった方にも使用しやすく、職員の身体的負担の軽減が可能となる。			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。